

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産費 項：農業費 目：農山村振興費

### 事業名 農山漁村活性化対策支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 農村支援係 電話番号：058-272-1111 (内 3158)

E-mail: [c11427@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11427@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 5,000千円 (前年度予算額：0千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高齢化・過疎化の進む農山村において定住人口の維持、交流人口の増加を通じた活性化を推進するため、地域のニーズを踏まえて、創意工夫と主体的な取組みによるきめ細やかな条件整備を支援する。

### (2) 事業内容

農林業の振興や交流人口増加を図るため、瑞浪市において、農林水産物処理加工施設や農産物直売施設の整備を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率は国の実施要綱等に基づく額とし、県費による上乗せ補助はなし。

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	瑞浪市
合計	5,000	

#### 決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」  
の公開の際に記載します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画『IV 地域資源を活かした農村づくり』」

#### (2) 国・他県の状況

国では、「令和2年度までに都市と農山漁村の交流人口を1,450万人まで増加させること、令和7年度の農村部の人口が2,151万人を下回らないよう人口減を抑制すること」を掲げ、対前年度比102%の100億円を概算要求。

#### (3) 後年度の財政負担

県負担は発生しない。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

市町村が事業主体。

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

瑞浪市瑞浪地区で設定された所得向上計画期間内に、都市と地域間の交流促進や農産物の高付加価値化等による農業振興を通じて、農山村地域の活性化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移			現在値	目標	達成率
					(前々年度末時点)		
中山間地域の集落協定面積(ぎふ農業・農村基本計画)	9,134ha (R元)	9,150ha (R3)	(H)	9,134ha (R1)	9,150ha (R7)	99.6%	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

令和元年度に、瑞浪市で、地域連携販売力強化施設（農産物直売所等）を整備しており、令和2年度は整備した施設を拠点とした所得向上を図るためのマーケティング調査や販売額向上指針を策定。

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

市がブランド化に取り組む豚の加工施設を整備し、豚加工品を核として併設する直売所の販売額を増加させるとともに、市外からの誘客と市内農畜産物の認知度向上、消費拡大を図ることができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	農林業が基幹産業となっている農山村地域の活性化を図るためには、交流人口の増加に向けた施設整備等を進めることは必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	事業実施年度の翌年度より事業評価を行い、事業の有効性を確認している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	計画策定段階において、費用対効果の算定を行い、効率的な事業実施に努めている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>農山村地域では少子高齢化の進行、経済的な停滞、都市部に比べ遅れた生活環境の整備などから地域の活力が低下しているため、今後もニーズに応えた施設整備等を進める必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>安定した農産物の提供、グリーン・ツーリズムなどの余暇の場の提供など、農山村の担う役割は大きい。そのため、地域の創意工夫により作成された活性化計画に即した施設整備等を支援し、活力ある農山村の実現を目指す。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	